

# CHUO TOPICS

2019  
秋号

盛岡中央高等学校  
附属中学校

岩手県盛岡市みなけ4丁目26-8  
TEL 019-641-0505  
<http://www.chuo-jhs.jp>

ジュニア版



## 大志を持って、世界と未来に羽ばたこう！

超スマート(Society 5.0)社会へむけての人材育成！

- 6年先の大学入試を見据えた中高一貫教育
- グローバルリーダーを育成するための充実のプログラム  
英語教育／国際理解教育／探究型体験学習／附中ライジングプラン
- 令和2年度 生徒募集要項・秋の入試説明会

Facebook はじめました

Facebookで  
チェックしてね

👍 いいね! お願いします



## 自分の志に向かって挑戦しよう

盛岡中央高等学校附属中学校 校長 坂本 晋

本校は高い目標を掲げる生徒諸君が、落ち着いてじっくり実力を養える学習環境を整えようと、昨年満を持して開校されました。目指すのは、高い学力と深い人間性、幅広い教養と豊かな国際性を備えた知識基盤社会を切り拓くリーダーの育成です。

教育デザインの両輪をなすのが、「人間力の育成」と「学力の向上」です。よりよい大人になるための「人間力の育成」は、「個性を伸ばす興味開発と探究学習」「アクティブラーニングによる課題解決型学習とキャリア教育」「グローバル人材となるための英語教育と国際理解教育」によって育みます。

未来の自分を開発するための「学力向上」は、「進路希望に明確な焦点を当てたコース制度」「中高一貫6年を見通した先取り学習」「3年間で840時間の授業時間数増を保証する独自のカリキュラム」によって達成します。私たちは、主体的な学びのプロセスを重視し、生徒一人ひとりが、自分は何のために勉強するのかその意味を考え、分かりやすく伝え実行していく力を育みたいと考えます。(元一関一高附属中学校長)



## 東北随一の私立進学校を目指します

盛岡中央高等学校 校長 千葉 研二

半世紀以上の歴史を持つ盛岡中央高等学校は、文武両道を貫き、東京大学文科I類2年連続合格をはじめ、北海道大学、東北大学などの国公立大学、慶應大学、早稲田大学、明治大学など難関私立大学への多数合格、野球・サッカー・柔道・スキー・ゴルフなどスポーツの強豪校としてもその名を馳せてきました。

また、独立進取・研鑽努力の建学の精神のもと、グローバル人材の育成に取り組んでおり、毎年8月に開催しているCHUO国際教育フォーラムでは、世界中の若者をここ盛岡の地に集めております。

そして平成30年4月には、永年の念願でありました附属中学校を開校し、首都圏型の中・高一貫6カ年教育がスタートしました。

人類が今まで経験したことのないスピードで進む21世紀、皆さんは盛岡中央高等学校で学んだ3年間の力を存分に発揮して、一人ひとりの夢を実現してください。

皆さんの本校入学を心から歓迎いたします。(元盛岡一高校長)

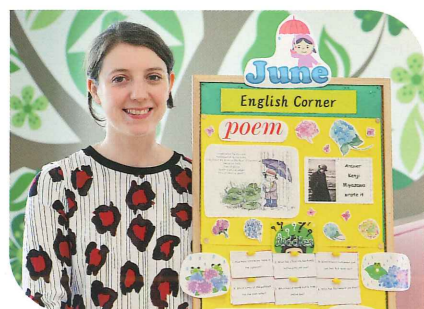


## 6年先の大学入試を見据えた中高一貫教育。未来に必要な「学力」×「人間力」を育む



世界で活躍するグローバルリーダー人材の育成

### Teacher's Introduction 教員紹介



### 英語 Get ahead in English! Alice Handscomb

Hello! My name is Alice Handscomb. I'm an ALT at Morioka Chuo Junior High School. I teach the eikaiwa course and I run the English circle.

Eikaiwa is a unique class with a focus on speaking. As a native teacher, I introduce cultural aspects and teach natural expressions. The class is taught "all in English". Students enjoy singing songs and doing fun English activities which help them to use new vocabulary and key phrases.

① 基礎的な知識と技能。 ② 自ら考え、判断し、表現する力。

③ 主体的に学ぼうとする姿勢。 ———— この3つを面倒見の良い指導でしっかり伸ばします。

### 数学 数学という名の自由の翼を携えて 盛岡中央附属中 副校長 下町 壽男

数学は様々な分野の基礎をなす学問です。数学を使うことにより、自然現象や社会現象が解明され、その結果私たちの生活に有用な情報を得ることができます。でも私はここで、数学を学ぶ理由として、その有用性だけではなく、「そこに数学があるから」とこたえてみたい。数学に限らず、学問を学ぶ動機は、役に立つとか、金儲けするためとかだけではなく、純粋に「知りたいことを知ろうとする欲求」なのだと思います。人は美しい音楽や絵に感動し、先人の作った詩や文章に感動します。それは人間が「生」を楽しむ活動だと思います。数学という名の大きな文化と一緒に楽しってみませんか？ (元花巻北高校長)





## 生きた英語に浸る

1年生は週2回、2年生は週1回のネイティブ教師による英会話の授業が行われ、「話す」「聞く」の技能の向上を図っています。また、英語の授業にOST(ネイティブスピーカーとネット上でつながり、それぞれが対話を行う学習)を加えていくことで、英会話力・プレゼンテーション力向上はもちろん、英語4技能の向上に努めています。これは、全館Wifi環境が整い、生徒1人1台のパソコンが配付されている本校ならではの取り組みの一つです。

# 英語教育

グローバル社会で存在感を発揮し、社会と世界に貢献するために必要な本物の英語力



# 国際理解教育

舞台は世界。五大陸・25校の国際姉妹校の仲間と教育交流、異文化に触れることで新たな価値を生み出す。



## 3年間で2回の海外研修旅行

本校では中学2年次に、新渡戸稲造や後藤新平なども当時のインフラ整備に大きく携わった台湾を訪問し、姉妹校との交流などを通して、異文化理解と郷土の再発見といった、グローバルリテラシーを育む活動を行っています。また、3年次にはカナダへの語学研修を実施し、濃密な5日間を過ごす中で、語学力だけでなく、「国際対話能力」「異文化理解力」など、国際人としての教養を磨きます。



## CHUO国際教育フォーラム

盛岡中央高校では20年以上前から国際教育活動を開始し、現在は世界五大陸、20の国と地域の25校と姉妹校を締結し、生徒、教員の受け入れと派遣事業を展開しています。毎年8月末に行われるCHUO国際教育フォーラムでは、世界各国から100名近い生徒たちが集結し、世界的諸問題について研究と意見交換を行い、全体会で発表しています。附中では昨年度からCHUO国際教育フォーラムの輪に加わり、交流から国際理解教育へと着実に歩みを進めています。



## 体験型英語教育施設によるステップアップ研修

本校では1学年は、福島県にあるブリティッシュヒルズ、2学年は東京お台場にあるTGGという体験型英語学習施設を活用した宿泊研修を行っています。国内に居ながらにして、海外で学んだ効果が得られるといわれるオールイングリッシュの環境の中で、異文化理解を深め、学校で学んだ英語を生きて働くものにする貴重な体験になっています。また、この体験型学習やOSTなどの活動の集大成として3年次のカナダ語学研修が位置付けられています。



# 中央高校附属中学校の6カ年教育を育成するためのグローバルリーダー充実の教育プログラム

本校が2019年度に実施している教育プログラムをご紹介します。



## 探究型体験学習

### イーハトーヴクエスト

本校では年間6回にわたり、希望する生徒に岩手県内の要所を巡り、普段の授業では学べないような啓発的な学びを企画・実施しています。今年度はこれまで、県立博物館、県立美術館、子ども科学館を訪問してきました。今後は岩手県立中央病院オープンホスピタルへの参加などを予定しています。イーハトーヴクエストは、ディスカバー岩手の旅から、進路につながる学びの旅まで、広い視野での体験学習を目指しています。

「世界人であればあるほど、**地域人**」  
郷土を知り世界へ羽ばたく  
人材を育てる



### 理科の野外学習

本校では理科の授業が週4時間ある他に、理科実験が週1回設定されています。写真は学校から徒歩15分のところにある県営運動公園内で行われた植物の観察と探究の授業風景です。秋にも同様の探究活動を継続して行います。



## 附中ライジングプラン

能動的学習者を生み出す  
附中の学びが  
ブレイクスルーの  
扉を開ける



### ライジングプラン

「Rising Plan」とは黎明期にある附中が目覚ましく成長し、世界を照らしていこうという強い思いを表す本校のシンボルです。学びにおいては、多種多様な講義、対話や発表、創作、研究活動などを通して、新たな価値を創造するための「学ぶ力」を育てます。それは学習成績の向上はもちろんのこと、さらにそれを超えて、「生きる力」となり、自分の人生を豊かにし、他者や社会を幸せにするベースとなって行くことを私たちは期待しています。

## アクティブラーニング

附中教職員は生徒と共に成長しようとする「学ぶ集団」です。私たちは、知識や技能を教師が一方向的に注入し、生徒が聴く、書くだけに終わる授業を乗り越え、対話や発表などの活動を通して、生徒の知的好奇心を刺激し、生徒が自ら学びに向かう姿勢を育てるような主体的で深い学習に日々チャレンジしています。



## 総合的な探究「岩手学」

総合的な学習では、郷土の先人に学ぶという教育目標の下、フィールドワークを取り入れた探究活動を行っています。1年次は先人記念館を訪問し新渡戸稲造・米内光政・金田一京助について学び、その功績をまとめその成果を発表します。2年次は宮沢賢治記念館などを訪問し、賢治や石川啄木などの作品に触れ、自己の生き方について考えます。3年次は奥州藤原氏の初代藤原清衡から探究し、世界遺産平泉を深く知ります。



創立者 龍澤 福美

建学の精神

独立進取 研鑽努力 尊師愛弟

教育目標

1. 中高一貫6カ年教育による、きめ細かな進路指導によって、東大をはじめとする最難関大学や、医学部医学科など難関大学への多数合格をめざす。
2. 21世紀のグローバル社会を見据えて、国際理解教育を推進し、世界に通用する人間力を備えたグローバルリーダーを育成する。
3. 岩手・盛岡が生んだ偉人(新渡戸稲造、宮沢賢治など)や伝統文化を学び、郷土を愛する心の教育を推進する。



理事長 龍澤 正美

盛岡中央高等学校附属中学校 令和2年度 生徒募集要項

		第1回 入試	第2回 入試																							
出願種類		単願 ※合格した場合、必ず本校に入学していただきます。 併願 ※他校受験と兼ねることができます。																								
試験日		令和元年12月8日(日)	令和2年1月19日(日)																							
募集定員		男女70名(第1回・第2回合わせて)																								
募集コース		東大・医進コース(東大および医学部を目指すコース) / 特進コース(難関国立大および早慶上智などを目指すコース)																								
出願	出願期間	令和元年11月25日(月)～12月4日(水) ※消印有効 郵送および窓口受付とともに同期間です。窓口受付時間は9:00～16:00(日曜日を除く)	令和2年1月14日(火)～1月16日(木) ※消印有効 郵送および窓口受付とともに同期間です。窓口受付時間は9:00～16:00																							
	提出書類	①入学願書 ②入学確約書(単願のみ) ③受験票返送用封筒 (住所・氏名を記入のうえ、切手362円貼付) ※郵送出願の場合のみ																								
出願資格		令和2年3月小学校卒業見込みの男女																								
入学検定料		12,000円 ※願書提出前に指定の用紙で郵便局にてお振込みください。(ATM利用可) ※払込金受領証を願書に貼り付けてください。																								
入学試験	集合時間	8:30																								
	試験会場	盛岡会場: 盛岡中央高等学校附属中学校 一関会場: 岩手日報社一関支社3F会議室	盛岡中央高等学校附属中学校																							
	試験科目配点	①4教科: 国語・算数・理科・社会 国語・算数…各100点満点 / 理科・社会…各50点満点【計300点】 ②面接(グループ面接: 5～7人)	①2教科: 国語・算数 各100点満点【計200点】 ②面接(グループ面接: 5～7人、新規のみ)																							
	試験時程	<table border="1"> <thead> <tr> <th>試験科目</th> <th>試験時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>諸注意</td> <td>8:50</td> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>9:00～9:50(50分)</td> </tr> <tr> <td>算数</td> <td>10:05～10:55(50分)</td> </tr> <tr> <td>理科/社会</td> <td>11:10～12:10(60分)</td> </tr> <tr> <td>昼食</td> <td>12:10～12:40</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>12:40～13:30</td> </tr> </tbody> </table>	試験科目	試験時間	諸注意	8:50	国語	9:00～9:50(50分)	算数	10:05～10:55(50分)	理科/社会	11:10～12:10(60分)	昼食	12:10～12:40	面接	12:40～13:30	<table border="1"> <thead> <tr> <th>試験科目</th> <th>試験時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>諸注意</td> <td>8:50</td> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>9:00～9:50(50分)</td> </tr> <tr> <td>算数</td> <td>10:05～10:55(50分)</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>11:05～11:30</td> </tr> </tbody> </table>	試験科目	試験時間	諸注意	8:50	国語	9:00～9:50(50分)	算数	10:05～10:55(50分)	面接
試験科目	試験時間																									
諸注意	8:50																									
国語	9:00～9:50(50分)																									
算数	10:05～10:55(50分)																									
理科/社会	11:10～12:10(60分)																									
昼食	12:10～12:40																									
面接	12:40～13:30																									
試験科目	試験時間																									
諸注意	8:50																									
国語	9:00～9:50(50分)																									
算数	10:05～10:55(50分)																									
面接	11:05～11:30																									
持ち物		①受験票 ②筆記用具・消しゴム ③定規 ④昼食 ※携帯電話、下書き、計算機能や辞書機能の付いた機器は持ち込めません。 ※上履きを持参してください。																								
合格発表		令和元年12月11日(水)までに本人に郵送	令和2年1月22日(水)までに本人に郵送																							
		①本人宛に通知書を郵送します。本校での受け取りは行いません。②校内には掲示しません。また、電話による問い合わせには応じられません。③通知結果について、コンピューターで処理を行っている関係で、氏名に使用されている常用漢字の中で扱えない漢字があります。その漢字については、JIS第1、第2水準の漢字で対応させていただきます。(例) 祥 → 祥																								
入学手続期間	単願	令和元年12月11日(水)～12月13日(金)	単願 令和2年1月22日(水)～1月24日(金)																							
	併願	令和元年12月11日(水)～12月13日(金) 令和2年1月22日(水)～1月24日(金)	併願 令和2年1月22日(水)～1月24日(金)																							
	持参書類	①合格通知書 ②入学時納入金220,000円																								

秋の入試説明会

保護者を対象に出願時の注意点や入試当日の諸注意を詳しく説明します。  
受験生を対象に入試問題の傾向と対策を具体的にアドバイスします。

9/8日 10/12±13日 11/2±3日

お申し込みはホームページから。

9:00～10:30 解説授業 国・社 9:00～10:30 解説授業 理・算 9:00～10:30 解説授業 理・算 9:00～10:30 解説授業 理・算 9:00～10:30 解説授業 国・社

第1回 入試 R1 12/8日

第2回 入試 R2 1/19日